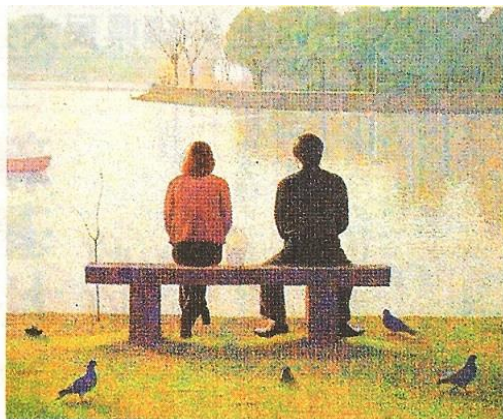


伊藤賞 熊谷有展さんの「Lake side」



日本トップレベルの写実「白日会」

29年ぶり 長崎巡回展

あすから県美術館

絵画と彫刻 122点

美術の公募団体、白日会（本部東京）が主催する第91回白日会展の長崎巡回展が19、24日、長崎市出島町の県美術館で開かれる。本

県での巡回展は、1986年以来29年ぶり。東京本展の選抜作品、本県作家の入賞作品など絵画109点、彫刻13点の計122点を展示する。

絵画は、内閣総理大臣賞など全国選抜作品70点、本県からの入賞・入選作品29点、九州近郊作品10点を展示。本県関係者では、特別賞の一つ、陽山美術館ルビ

ック賞に輝いた長田ユミさん（雲仙市）の「君と僕のあいだに」、白日会前会長、伊藤清永氏を記念する伊藤賞に決まった熊谷有展さん（島原市出身、崇城大教授）の「Lake side」も並ぶ。

彫刻は、文化勲章受章者の中村晋也さんの全国選抜作品11点のほか、本県作家の入選作品2点を展示。白日会長崎支部の江口武志支部長は「白日会は写実をモットーとし、巡回展では幅広い年齢層の日本トップクラスの作家たちの息吹を感じられ、見ごたえがある」と話している。

入場料は一般700円。大学生以下無料。

（中村修二）

陽山美術館ルビック賞 長田ユミさんの「君と僕のあいだに」